

# 委員会の動き

## 市民連合・公明党 都市事例調査報告

市民連合・公明党は地域主権時代における自治体独自政策について長崎県南島原市・大分県豊後高田市の都市事例調査を行った。



長崎県南島原市にて

## 地域主権時代の自治会活動

雲仙普賢岳の噴火の際に大きな被害を受けた8町が平成18年に合併し誕生した南島原市は、地域防災の関心が高く自治会組織の重要性が広く浸透しており、自治会加入率90.1%で県内トップクラスの数字である。

自治会長は、当該自治会の推薦によって市長が非常勤の特別職として任命し、自治会長設置に関する規則によってその職務が規定され、報酬及び費用弁償

に關しても条例で定められている。特別職に任命することで個人情報に關する守秘義務を課し、行政と共に要援護者の情報を共有し、自治会活動、地域防災活動など、より確かな活動を可能にした。

## 「学びの21世紀塾」

豊後高田市は、完全学校週5日制の実施に当たりアンケートを行い、70%の保護者が学力低下・土日の過ごし方に不安を抱いている結果を受け、行政として子供の学力や体力の向上、心をどう21世紀に育てるかを目的に「学びの21世紀塾」を開設し、①いきいき土曜日事業②わくわく体験活動事業③のびのび放課後活動事業を行い、土曜日の空白時間をつくるのではなく勉強や体験活動・ボランティア活動に取り組み、自分づくりをする時間とした。学びの21世紀塾の講師は、教員経験者・元銀行員・家庭教師の経験者・地元の高校生・留学生など多彩である。

大分県基礎・基本の定着度調査では7年連続でトップを維持しており、これは地道な学習支援効果の結果である。

## 平成23年度決算審査特別委員会報告

第3回定例会において継続審査の付託を受けた平成23年度決算歳入総額は、一般会計では12,224,245千円、特別会計(国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療・公設地方卸売市場事業・公共下水道事業・簡易水道事業)6,104,745千円、歳出総額一般会計11,898,551千円、特別会計5,946,214千円で実質収支総額は405,911千円で前年度より145,968千円増額しています。

企業会計は水道事業決算額459,828千円、ワイン事業営業収益397,393千円です。

認定第1号より認定第9号の、平成23年度富良野市一般会計ほか各会計歳入歳出決算審査に当たっては、9月14日に審査日程、要求資料の検討並びに決算内容について会計管理者から総括的に説明を受け、11月7日、8日、9日の3日間にわたり、所管部ごとの審査を行いました。

審査では、「移住促進事業費」「交通安全対策事業費」「富良野市社会福祉協議会補助金」「緊急時医療情報カード交付事業費」「高齢者元氣事業費」

「シルバー人材センター補助金」「富良野市老人クラブ連合会補助金」「生活保護費支給事業費」「北海道総合在宅ケア事業団負担金」「アグリパートナー推進事業費」「安全・安心農業推進事業費」「農産加工推進経費」「栽培用ハウス促進支援事業費」「農業労働力確保対策事業費」「経営体販売力強化支援事業費」「除雪対策事業費」「特別支援教育推進事業費」「図書資料整備事業費」「朝日ヶ丘総合公園多目的運動広場整備事業費」等に対し質疑が行なわれました。

また、11月9日には3日間にあたる審査を踏まえ、今後の委員会の進め方を協議した結果、さらに市長、教育長との意見交換が必要との判断にたち、11月26日に日程を設けたところとす。

意見交換においては、「朝日ヶ丘総合公園多目的運動広場整備事業費」についての「設計測量調査の結果について」「北海道総合在宅ケア事業団負担金」についての「加入意義について」等の7項目に対して行いました。

審査結果については、認定第1号の一般会計より認定第9号までの9件について、全会一致で「認定すべきもの」と決定いたしました。

## 富良野市議会一般会議(議会とまちづくりトーク)のお知らせ

富良野市議会では、市民と議員が自由に情報及び意見を交換する目的を達成するため、議会とまちづくりトークを実施要綱を定め、1月1日から受付、2月1日から運用実施することにした。具体的には、希望する市民、市民団体、NPO等(以下「団体等」という)が、申

込書を議長に提出していただき、代表者会議において内容を審査し開催の可否を決定いたします。実施要綱、申込書様式など手続きの詳細については、富良野市議会ホームページをご覧ください。だくか、議会事務局(☎3912322)にお問い合わせ下さい。